

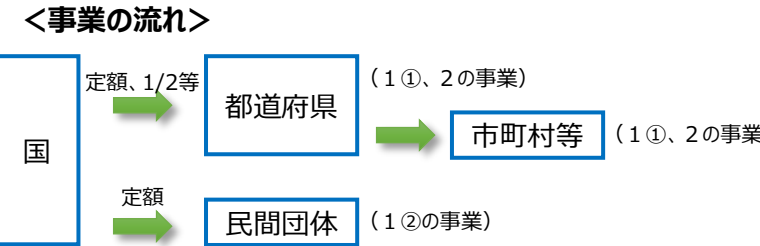
＜対策のポイント＞
農業者が減少する中、生産性の向上、生産コストの低減に向け、**農業水利施設等の管理の省力化・高度化**や**スマート農業の実装**を推進するとともに、**地域活性化を促進**するため、農村地域における**情報通信環境の整備**を支援します。

＜事業目標＞
情報通信環境の整備に取り組む地区（約100地区〔令和11年度まで〕）

＜事業の内容＞

1. 計画策定事業
- ① 計画策定支援事業
情報通信環境に係る調査、計画策定に係る取組を支援します。また、**情報通信分野の知見を持つ人材を育成する取組**を支援します。
 - ② 計画策定促進事業
事業を進める中で生じる諸課題の解決に向けたサポート、ノウハウの横展開等を行う**民間団体の活動**を支援します。
2. 施設整備事業
- ① **農業水利施設等の管理の省力化・高度化**や**スマート農業の実装に必要な光ファイバ、無線基地局等の情報通信施設及び附帯設備の整備**を支援します。
 - ② ①の情報通信施設を**地域活性化に有効活用するための附帯設備の整備**を支援します。

- 【実施要件】
- ・事業実施計画を策定していること（1、2の事業）
 - ・総事業費200万円以上 等（2の事業）



＜事業イメージ＞

情報通信施設

光ファイバ 無線基地局 RTK-GNSS基準局 鳥獣農センサー 水位センサー 監視カメラ

農業用ダム ため池 公共無線LAN 農機の自動操舵 選果場 ドローン ハウス環境計測 農業集落排水 自動給水栓 排水機場 居住エリア 既設光ファイバ 事務所から施設を監視・制御 自宅から農地を監視

（情報通信施設の活用例）

- 光ファイバ
- 無線基地局。地域の取組内容に応じた適切な通信規格（LPWA、BWA、Wi-Fi、ローカル5G等）を選定。
- 農業水利施設等の管理の省力化・高度化に関する利用
- スマート農業の実装に関する利用
- 地域活性化に関する利用

— 事業活用事例（A地区） —

- 計画策定支援事業を活用し、地域一体となって事業を推進する**取組体制を構築**。
- 国営事業によるほ場整備と併せて、**無線基地局を整備し、農機の自動操舵のためのRTK-GNSS基準局、自動給水栓等**を導入予定。